

授業科目名 <英訳>	問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1 Field based Learning/Problem based Learning (FBL/PBL) 1				担当者所属・ 職名・氏名	情報学研究科 教授 関連教員					
配当 学年	1回生以上	単位数	1	開講年度・ 開講期	2017・ 前期集中	曜時限	集中講義	授業 形態	集中講義	使用 言語	日本語
授業種別	デザイン学科目										
【授業の概要・目的】											
<p>本科目は、FBL (Field based Learning)を通して、与えられた実世界の状況から解決すべき問題を発見するプロセスをチームで体験することで、デザインの実践を行い、デザイン理論とデザイン手法の習得を行い、また、PBL (Problem based Learning)を通して、与えられた実問題をチームで解決するプロセスを体験することで、デザインの実践を行い、デザイン理論とデザイン手法の習得を行う。本科目では以下を目的とする。FBL においては、(1)与えられた実世界の状況を観察し、分析することで、状況の構造を理解し、根本原因となっている解くべき問題を発見すること、(2)問題を発見するにあたって必要なデザイン理論を習得すること、(3)問題発見に必要なデザイン手法を習得し、プロジェクトの中で実践すること、(4)現実的に解決可能な問題を定義すること。PBL においては、(1)問題解決に必要なデザイン理論を習得すること、(2)問題解決に必要なデザイン手法を習得し、プロジェクトの中で実践すること、(3)実現可能な解決策を立案すること。</p>											
【到達目標】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得したデザイン理論とデザイン手法を用いて、現実社会における問題を発見し、解決可能な問題として定義できる。また、実現可能な解決策を立案できる。</li> <li>・異なる専門領域のメンバーと円滑にコミュニケーションを取り、問題を共有し、協力して問題解決に取り組むことができる。</li> <li>・社会が求めるニーズに対して、また、チームの中での、自身の役割を理解する。チームとして取り組んだ内容を、学内外の第三者に効果的に伝えることができる。</li> </ul>											
【授業計画と内容】											
<p>イントロダクション(1回) 本演習の概要と、プロジェクトの進め方について説明する。また、知財の扱いについても説明する。</p> <p>FBL/PBL 実践(13回) プロジェクト毎にFBL/PBL進める。プロジェクトによって、毎週実施、離散的な実施、集中的な実施などの実施形態があるので、それに従うこと。</p> <p>発表会(1回) プロジェクト毎に成果を発表する。</p>											
【履修要件】											
<p>特になし。 ただし、各自の専門分野における分析能力・問題解決能力を有することが期待される。</p>											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>FBL (Field based Learning)/ PBL (Problem based Learning)を通して、デザインの実践を行い、デザイン理論とデザイン手法の習得することを到達目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見や解決に用いる手法の修得状況 5 割 (レポートや試問による)</li> </ul>											
----- 問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1(2)へ続く -----											

## 問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1(2)

- ・問題発見や解決結果の質 2 割（レポートや試問による）
- ・チームへの貢献 3 割（教員の観察による）
- ・なお、8 割以上の出席を単位の前提とする（出欠確認による）

### [教科書]

授業中に指示する  
実習で用いる資料は、適宜配布する。

### [参考書等]

（参考書）

### [授業外学習（予習・復習）等]

各プロジェクトの実施責任者から適宜指示する。  
学期の中盤に中間発表会を開催し、履修者間の情報共有、並びに他者からのフィードバックを得る機会とする。中間発表会には原則として全参加者に参加を求める。

### （その他（オフィスアワー等））

アポイントを経ることとする。  
メール等による質問は適宜受け付ける。  
実施予定のテーマをデザイン学大学院連携プログラムの公式Web（<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/>）に掲載するので、内容を確認の上、履修登録および参加申し込みを行うこと。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。